

## 第1回 ことすが作文コンクール

例年の「土清コンクール」は、絵画・書道で二回行われたが、今年度は「作文コンクール」として実施。対象は市内小学校4年生～6年生とし12月募集、1月14日（月）締め切り。応募総数30点。いずれも4年生だった。

1月31日（土）審査の結果、次のみなさんの入賞が決った。

- |            |  |
|------------|--|
| 第1位 土清大賞   | 頓部有以子（南立誠小）  |
| 第2位 津市長賞   | 西塔慶一郎（同）   |
| 第3位 津市教育長賞 | 飯柴 志織（藤水小）   |
| 入選（以下順不同）  | 杉谷 理子（藤水）・倉田 海帆（藤水）・菅谷 豪（南立誠）<br>梅谷奈津子（北立誠）・松本莉奈（新町） |

審査は、三ツ村顧問・竹内・佐野・馬場の委員で下見、竹仲透文化課長を交えて得点順に見直して決定。2月22日（土）午前10時～11時、近藤市長・田中教育長ご臨席のもとに谷川土清旧宅で表彰式を行なった。

土清大賞の頓部さんの作文は、よくまとまっていたこと、体験を通して得たものがあつたこと、更に土清の研究を今後へとつなげる意欲が見られたこと等で満票だった。

表彰式の後、受賞の感想を聞くと、頓部さんは「うれしい。夏休みの自由研究で谷川土清のことを調べていた。親子洞津谷川塾にも参加した。土清のような人になりたい」とその喜びを語った。

### ❀❀❀ 伊吹山とお花畑バスハイキングに参加して ❀❀❀

9月27日（金）、会員10名とあと二人の参加を得て、三重会館から貸し切りバスで一路伊吹山へと出発。お天気にも恵まれ、車内は和やかな雰囲気です。山頂駐車場（標高1260m）まで無事到着。一同元気に西遊歩道コースを約40分ほどハイキング。8月末頃だと温帯及び亜高山性の美しいお花畑が見られ、約300種類の薬草も色とりどりの花を咲かせているそうですが、生憎時期が遅いのでほとんどが枯れていて残念。でも、視界はすばらしく、琵琶湖まで一望できて満足でした。軽い足取りで山頂小屋（最高峰1377m）に到着。おいしい昼食をいただき、帰りは少し険しいコースの中央遊歩道を20分程で下り、駐車場へ。再びバスにて帰途につく、本当に楽しい一日でした。

伊吹山は、歴史的には織田信長がポルトガル宣教師の依頼によりこの山にヨーロッパや中国の薬草園を築いたと伝えられ、「キバナノレンソウ」「イブキノエンドウ」などは、この時代の名残の植物と考えられます。この貴重なお花畑を守り、次世代へ引き渡してほしい思いです。（研修部 吉川ツネ子）

### ❀❀❀ 薬草展示園の現状 ❀❀❀

平成11年秋、谷川土清の会が市内神納町地内（森川氏所有）に開設した薬草展示園には、現在約30種類の薬草・薬樹が植えられている。（クコ・ニッケイ・ナツメ・菩提樹・天台烏薬・ゲンノショウコ・ウコン・ハブソウ・ミズヒキソウ・シャクヤク等）

今は冬枯れの畑だが、夏には葉を繁らせ、花の楽しめるものもある。小規模な園ではあるが、一般市民にも開放して薬草の知識の涵養の一助になればと、夏の灌水・除草等維持管理に努めている。（研修部 竹田 豊）

#### 新入会員募集中

連絡先：事務局塚澤洋自宅（231-0568）または  
石水博物館（227-5677）へ

#### ❖ 編集後記 ❖

悲しいお知らせが二つ。一つは、この会発足以来の会長だった増田孝氏（82歳）の訃報である。再三の手術にも堪えて復帰されたのも東の間九月末になくなられ、会としても大打撃。顧問から森晋氏に会長代行をお願いした。もう一つは、会計監査出口一彦氏（60歳）の急死。1月16日午後7時53分文化会館前で倒れ、そのまま逝かれたという。併せてご冥福をお祈りする。

一方、新しい試みや展望もみられる。

更に、2009年の生誕300年に向けて津市の取り組みが始まっているのもうれしい。

（文責 編集係・佐野）